



戦歿者追悼式

11月12日(エコールみよた)

御代田町戦歿者追悼式が行われ、戦歿者のご遺族の方、関係者が参列しました。先の大戦が終結してから、七十年の歳月が経過しました。当町でも228名の方々が、祖国を思い、家族を案じつつ、遠い異境の地などに亡くなられました。亡くなられたすべての御霊に対し、哀悼の誠を捧げます。



通い稲作塾 脱穀作業

10月31日(面替)



通い稲作塾は、面替地区が中心となり、都会の方に無農薬の稲作を体験してもらおうと始め、今年6年目を迎えました。田植え、鯉・鮒の水揚げ、稲刈りなど1年間に10回程の作業をします。この日の作業には約30人が参加。脱穀、精米、袋詰めをして今年の作業を終えました。無農薬の米作りへの関心から参加した皆さんですが、作業以外にも地元の方との交流や四季の変化を楽しみに御代田町を訪れています。

ヤマユリの植栽体験

10月29日(南・北小学校)

実際に花を育てることで、町花ヤマユリに親しみを持ってもらいたいと、この時期やまゆりの会では小学3年生を対象に植栽体験を行います。今年も学校の敷地内に、たくさんの球根を植えました。子どもたちは初めて見るヤマユリの球根に感激。植え方を教わりながら、仲良く植栽体験を楽しみました。



やまゆり栽培講習会

11月7日(エコールみよた縄文広場)

ヤマユリの保護・育成活動を行っているやまゆりの会。今年も栽培講習会が行われ、町内外から集まった参加者が、会員の指導の下、ヤマユリの鉢植え作りを楽しみました。来年の龍神まつりのやまゆり展示会への意気込みも聞こえてきました。



十日夜

11月7日(上宿区)

上宿区で十日夜が行われました。十日夜は旧暦10月10日に行われる稲の収穫祭です。収穫した稲わらにきつく縄を巻き付けて「わら鉄砲」を作り、地面を打って区内を回ります。子どもたちは「十日夜のわら鉄砲ゆうめしく夕飯食ってぶっ叩け」と元気よく唱えながら地面を打って、作物にいたずらをするモグラを追い払い、翌年の五穀豊穡を願いました。



もみじまつり

11月1日(ハートピアみよた)

町社会福祉協議会が主催する第17回もみじ祭が開催されました。もみじ祭りは、ハートピアみよたの利用者と地域の皆さんとの交流などを目的としています。町内の宅老所や各種団体の模擬店やバザー、農産物の販売などがあり、来場者はそれぞれお目当ての物を買って求めていました。今年も多くの方が訪れ賑やかなおまつりとなりました。



野沢菜・大根収穫体験祭

11月21日(平和台)

町内の農業青年で構成される「浅間クラブ」が、恒例の収穫体験祭を開催しました。野沢菜と大根は、会員の皆さんが「安心して食べてもらいたい」と低農薬で愛情を込めて栽培したものです。収穫作業に慣れない参加者には会員が手助けをするため、誰でも気軽に参加できます。収穫する楽しみと味わう楽しみがあるこの収穫祭を「毎年楽しみにしている」という方も。今年は約90人が来場し、各々に収穫を楽しみました。



健康づくりの集い

11月23日(エコールみよた)

今年の健康づくりの集いでは「子育てハッピーアドバイス」と題し、真正会富山病院心療内科部長明橋大二さんにご講演いただきました。明橋さんの子育てに対する具体的なアドバイスに「子育てへの不安が減って前向きになれた」「大人にも当てはまる内容でよかった」などの感想がありました。はつらつサポーターが紹介し、参加者と一緒に行ったストレッチも「楽しい運動ができて気持ちがあすっきりした」と好評でした。



第25回老人スポーツ大会

11月25日(やまゆり体育館)

老人スポーツ大会は、高齢者相互の親睦を図り、心身の健康と協調精神を養うことを目的に毎年開催しています。今年も約400人が参加し、レクリエーションと各区対抗のミニミニオリンピックが行われました。この日は気温が低くとても寒い日となりましたが、寒さに負けずに競技に取り組む姿や、笑顔で仲間を応援する姿が見られました。



おもちつき

12月3日(杉の子幼稚園)

園児たちは、もちを作る蒸かしたもち米を先生から見せてもらった後、ひとりずつ杵でもちをつきました。「早くやりたい!」と自分の順番をウキウキした様子で待つ園児。「べったん!べったん!」とお友達のもちつきに合わせた元気のよい掛け声が園庭に響きました。園児全員でついたおもちは、お正月を迎えるための鏡もちになりました。